

# 平成22年度事業報告書

平成23年5月

財団法人 生涯学習開発財団

## 平成22年度 事業報告書

### [I] 学習情報提供 及び支援事業

#### (1) ライフ・ラーニング・メンバーズ運営・事業

##### ① 「生涯学習情報誌」の制作と配布

- ・生涯学習に関するニュースを新聞（全国紙・地方紙）及び生涯学習雑誌（「社会教育」）等専門紙から記事を掲載し内容別に分類、編集
- ・ライフ・ラーニング・メンバーズの会員（地方公共団体、企業、団体、個人）に毎月配布し会員の事業等を紹介し以下のように分類、編集
  - ・「世の中の動き」
  - ・「光る人々」
  - ・「独自の講座・資格」
  - ・「日本の文化を伝える」
- ・毎号特集も組んでいる
  - ・ご町内発 **世界に輝く技術**
  - ・当財団の評議員の倉部先生による「川柳で“現代”を探る」を連載
  - ・お茶の水文化学院発 新たな知の交流の場として  
クリエイティブ・カフェレポート
- ・財団及び会員の生涯学習事業、活動状況、お知らせ等の情報提供を紹介
- ・財団助成金事業の活動報告
- ・配布状況

官公庁	5
個人	1
企業	52
贈呈	31

(H23.3 月末現在)

##### ② ライフ・ラーニングメンバーズ活動

- ・メンバーズの企業・団体の企画、推進に対して助言、後援を行った。
- ・平成22年度のLLメンバー交流会を中止し、交流会開催の予算をこの度の東北地方太平洋沖地震の義援金として ACCJ（在日米国商工会議所）Disaster Relief Fund に寄付いたしました。この基金を通して被災した市町村の学校の再建などに用いられる予定です

(2) 全国生涯学習フォーラム高知大会（第22回全国生涯学習フェスティバル）  
まなびピア高知 2010）に参加、出展

主催：全国生涯学習フォーラム高知大会実行委員会  
期間：平成22年11月20日（土）～11月22日（月）3日間  
会場：全国生涯学習情報発信市・体験ひろば  
主会場：高知ちばさんセンター会場  
入場者数： 延べ5300人（2日間）

- ①生涯学習情報誌を来場者に「生涯学習情報誌」PR
- ②LL式学習適性診断を来場者に無料で行い3日間で約300人診断
- ③ブース内で協賛会員紹介コーナーを設け会員が来場者に説明
- ④文部科学大臣より感謝状を授与

(3) 生涯学習を推進している団体等への支援・協賛

① 資格認定事業

・ライフ・ラーニング・メンバーズの会員の中で特に生涯学習に関する講座・教室を主宰している企業、団体の事業に対し、その趣旨に賛同して財団がこれを共催、後援する

(後援講座・資格名)	(企業・団体名)
◇SRS式速読法インストラクター	(株)シーコミュニケーションズ
◇健康管理士一般指導員	NPO 日本成人病予防協会
◇サプリメント管理士/マスター	NPO 新生活普及協会
◇認定コーチ、マスタコーチ	(株)コーチ・エイ
◇食生活アドバイザー	一般社団法人FLAネットワーク協会
◇経営管理指導士	ビジネス・ブレークスルー大学院大学
◇NLP マスタープラクティショナー	(株)ホロンPBI
◇アートセラピスト	(株)クエスト総合研究所
◇メンタルケア心理士・メンタルケア心理専門士	NPO 医療福祉情報実務能力協会
◇スキルリーディング講師	(株)ジェイバン
◇営業検定一種	(株)グローバルステージ

## [II] 業務委託事業

ハーバード大学 男声合唱団“クロコディロス” 海外公演支援

毎年6月に6大陸ワールドツアーの公演活動をするハーバード大学男子アカペラグループ“クロコディロス”が日本公演で自治体と公演契約を結ぶ際、財団が経費（公演料。宿泊費、交通費）を一括して受託した形をとり、全額クロコディロスに支払う

日本各地での公演（6月15日～26日）を支援した

6月13日	筑波大学 講堂
14日	(株) コーチ・21
15日	石川県 金沢駅エキコンステージ
16日	石川県七尾特別支援学校
17日	音楽堂 コンサート
18日	国立オリンピック記念青少年総合センター
19日	川崎国際交流協会ホール
21日	横浜市立 市ヶ尾中学校 東京大学病院 ロビー

## [III] 助成金・奨学金の募集及び支給

今年度も生涯学習のより一層の推進を図るため、研究活動に対して資金援助を実施した

募集期間

平成22年4月1日より平成23年3月31日

審査結果

選考委員の審査の結果平成22年度助成金は、下記3件の事業に支給されました

### (1) 事業名

「美術品梱包輸送技能士」検定のためのガイドブック（初級編）  
作成と検定準備作業

対象団体

財団法人 日本博物館協会（代表 河上恭雄）

### (2) 事業名

サイエンス・アートの社会に対する役割～  
アートを通じて科学を身近な物

対象個人

佐藤 亮子

(3) 事業名

生涯学習開発に関する調査研究プログラム

対象団体

一般社団法人 アショカ・ジャパン (代表 榎 加志波)

**[IV] 河口湖 有隣園 生涯学習研修センターの運営**

- ①今年度も昨年より引き続き地盤調整（計測）を行った
- ②5月 理事長が大工塾の塾生12人と研修のため使用
- ③8月（2日間） 理事長他14名の研修会（東京都の公安関係者）
- ④10月 国、県、町の関係者が資料館を文化財とする事に係わり現地調査
- ⑤12月（2日間）理事長及び佐藤公啓氏と富士山の世界文化遺産登録に係わる湖周辺的环境整備について協議
  - ・ボート屋等の国有河川敷地の占用許可変更（占用面積の拡大）
  - ・占用許可の無いボート浅橋の取扱について
  - ・旧タイガーバーム跡地の購入意向の確認
- ⑥2月 国有河川敷地の占有認可申請書を県に提出
- ⑦3月15日の河口湖震度5の地震では特段有隣園の建物には被害はありませんでした